

策定の趣旨

「あいち国際戦略プラン2022」を策定してから5年の間に国際社会は大きく姿を変え、世界の先行きは不透明感を増した。第4次産業革命や脱炭素化の進展、新たな経済連携協定の枠組等による環境の変化に加え、新型コロナウイルスの感染拡大や厳しさと複雑さを増す国際情勢といった世界の動きを捉えた新たな国際戦略が望まれる。こうした状況においても本県が世界とつながり成長する地域であり続けるために、次代を担う若者を中心に幅広く多層的な交流を実施し、未来に続く施策を展開するべく、今後5年間の戦略・施策の方向性を示した次期国際戦略プランを策定する。

愛知県の現状

強み	英語教育の着実な成果	外国人人口の集積	多様な魅力の存在	モノづくり産業の集積
課題	デジタル人材の不足	高度外国人材の受入れの遅れ	国際的な認知度の低さ	デジタル化の必要性

目指すべき愛知の姿

世界と行き来するヒト・モノ・カネ・情報により成長を続ける愛知

時代に即したグローバル人材の輩出	外国人材の活躍による地域の発展	愛知ならではの魅力の認知による愛知のブランドの確立	愛知型成長モデルによる産業の発展
------------------	-----------------	---------------------------	------------------

目指すべき愛知の姿を実現する戦略・施策の方向性

<p>若者のグローバル人材としての育成 （国際性×創造性）</p> <p>（施策の方向性）</p> <p>①英語力、コミュニケーション力の育成 ②国際感覚の醸成 ③イノベティブな人材の育成</p>	<p>仕事、生活の充実による外国人の活躍、定着の促進 （海外の知識×地域力）</p> <p>（施策の方向性）</p> <p>④外国人留学生の受入、活躍促進 ⑤外国人材の就業、起業促進 ⑥外国人も住みやすい地域づくり</p>	<p>愛知ならではの多様な魅力の発信 （伝統×最先端）</p> <p>（施策の方向性）</p> <p>⑦愛知ならではの魅力を活かした外国人旅行者の誘致 ⑧国際イベントの誘致、活用 ⑨国際交流拠点としての機能強化</p>	<p>愛知型成長モデルによる産業の国際競争力強化 （モノづくり×デジタル化）</p> <p>（施策の方向性）</p> <p>⑩イノベーションの創出 ⑪国際ビジネスの拡大支援 ⑫外国企業等の誘致</p>
--	---	---	--

横断的な視点

<p>ウィズコロナ・アフターコロナの国際社会の変化</p>	<p>新型コロナウイルスの感染拡大により国際交流の在り方が大きく変化。移動の制限がもたらした人々の行動や考え方の変容が、様々な分野に影響を及ぼしている。変化に対応するため、海外の先進的な知見を取り込む重要性が更に増加。</p>	⇒	<p>方法・内容の両面で施策を柔軟に展開</p>
<p>変化する国際情勢における海外地域との交流</p>	<p>厳しさと複雑さを増す国際情勢が、様々な分野の国際交流に影響を及ぼしている。地方自治体には海外地域との信頼関係を醸成し、交流の土台を築いていくことが求められる。若い世代を中心とした幅広い地域との交流は、将来のさらなる良好な関係の構築につながる。</p>	⇒	<p>幅広い地域との提携を活かし次代を担う若者を中心に多層的な交流を展開</p>